

令和5年度DX等に係る企業実態調査業務  
公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和5年7月14日 13時05分から14時55分まで
2	場 所	広島県庁本館3階経営戦略審議官会議室 ※提案者はZoomにより出席
3	出席委員	総務局 DX推進担当部長 総務局 施策形成支援チーム政策監 総務局 統計課課長 商工労働局 商工労働総務課参事 商工労働局 イノベーション推進チーム担当課長
4	議 題	令和5年度DX等に係る企業実態調査業務公募型プロポーザルに係るプレゼンテーション審査について
5	担当部署	総務局 DX推進チーム
6	開催方法	参集（オンライン併用）
7	議事内容	<p>選定委員会において、提出された企画提案書を基にプレゼンテーション審査を行い、審査の結果、最も得点が上位の提案者が2者となった。決選投票を行い、最も得票数の多かった提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>A社：株式会社東京商工リサーチ広島支社 B社：株式会社帝国データバンク広島支店 C社：OKAMU 株式会社</p> <p>各選定委員の主な評価・選定理由については、次のとおりである。</p> <p><b>【A社】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本業務の目的に沿った提案となっており、過去の実績を踏まえ、一定の調査結果が期待できるものの、例えば小規模事業者が回答しやすい間の設定や、前回の調査結果を踏まえた工夫などについては評価しにくい。</li> <li>・ クロス集計をしていく上では、適正な回答ができるだけ多く回収されることが重要であり、回収目標30%を評価する。</li> <li>・ 特に分析について、独自の提案をしている。</li> <li>・ 豊富な実績を有しており、様々な視点のクロス分析が期待できる。自社で保有しているデータを効果的に活用した独自分析を提案している。</li> </ul>

- ・ 多様な分析による、多角的にDXの状況が把握できる点は評価できる。

#### 【B社】

- ・ 本業務の目的を踏まえた提案となっている。特に過去の実績や実際のデータを踏まえた調査条件設定、前回調査の改善点を提案するなど評価できる提案となっている。
- ・ 分類の仕方などが具体的に提案されており、円滑な業務は期待できる。日々の本来業務における会社訪問も含めてアンケート回収に尽力することについて評価できる。
- ・ 保有するデータについては強みを持つ。本県の分析の提案には具体性に乏しい。
- ・ 豊富な調査経験を有しており、企業訪問を日常的に行い、企業との信頼関係を構築している強みを活かした回収率のアップが期待できる。
- ・ 調査分析に関するノウハウや他県での業務経験について優位性があるものとして評価できる。

#### 【C社】

- ・ 本業務の目的を一定程度踏まえつつ意欲を感じる提案となっているものの、売上げの小さい小規模事業者も含めた実態把握や、実施体制などにおいて評価しにくいところがある。
- ・ 提案内容がいずれの項目についても具体的でなく、適切に業務を実施できるか不安がある。
- ・ 意欲はあるが提案内容が具体的でない。また、実施体制にも不安がある。
- ・ 分析や集計での独自提案に不足があると思われる。
- ・ 独自の視点での調査方法について評価できるところもある。